

詞韻波羅密大光明

SHIKIN HARAMITSU DAIKOMYO

詞 (Shi) means Words / Lyric. 韻 (Kin/In) means Echo or Rhyme. 波 (Ha) means Wave or Swell. 羅 (Ra) means Net, Network, Screen or Mesh. 密 (Mitsu) means Secretly, Dense or Precise. 大 (Dai): means Big or Great. 光 (Ko) means Light. 明 (Myo) means Bright or Shining.

詞韻 (Shikin) means Great Nature Words (Echo).

波羅蜜 (Haramitsu) means Inherent Wisdom.

大光明 (Daikomyo) means Great Bright Light.

This language / phrases is a Buddhism and Shintoism chant for a martial artist.

In Genbukan Ninpo, the benediction, "Shikin Haramitsu Dai Komyo," is repeated at the beginning and end of training sessions. The word Shikin has four dimensions. The first dimension is a merciful heart expressing love for everything. Second is a sincere heart to follow what is right. Third is a heart in tune with natural order. Last is a heart dedicated to a chosen pursuit. Combined, these four elements produce great wisdom, Haramitsu, which yields a powerful aura, Dai-Komyo. The energy emitted is like a nuclear reaction continuing forever. A Ninja must penetrate the depths of knowledge for complete enlightenment.

If you understand its deep meanings and pray throughout your life, the effect will be enormous.

"The light of mercy travels vertically, the light of the heart travels horizontally, with them, it can spin, and that is the heart of nature's cycle."

On a day of December 1959 (Showa Era 34th), Takamatsu Toshitsugu did teach and gave to Ueno Takashi this Shikin Haramitsu Daikomyo Densho that are many highest secrets teaching of Amatsu Tatar of Izumo old Shintoism which Takamatsu Family line.

On a day of May 1990 (Showa Era 40th), Ueno Takashi did teach and gave these secrets with Densho to Kobayashi Masao. On the date 26th April 1990 (Heisei Era 2nd), Kobayashi did give to Tanemura all of that.

詞韻波羅密大光明

忍法の呪文と申しますか、祈りの言葉の中に、「詞韻波羅密大光明（しきんはらみつだいこうみょう）」と云うのがあります。

この「詞韻」とは、『慈悲の心』・『真の心』・『自然に従う心』・『自然に励む心』の四つの心を言います。

即ち、全てを愛し慈しむ心、真実一路の正義にあふれる心、何事も自然の定めと思ひ天命に従って生きる心、己の使命に迷わず淡々と励む心と云う事です。この四つの心が合致した時には、偉大なる内在された智慧（これを『波羅密』と云う）が奔流の如くほとぼしり出て、大光明となって燦然と輝き出すのです。これを「武徳威光」とも申します。

また、この四つ心が互いに相乗し合う事によって核分裂の様に益々光を放って行くという事から「四頭波羅密大光明」と言う場合もあります。

ともあれ、大宇宙は一定の法則によって運行しており、この大宇宙に同化する事が人間として一番大切な事で、それには潜在意識と顕在意識がストレートに通じ、ひいては宇宙意識とダイレクトに通ずる事が必要なのです。

その為の方法として、この詞韻波羅密大光明があるのです。この含まれている意味をよく理解し、そしてそういう心掛けで生活し、稽古しますという祈りを込めてこの呪文を唱えるならば、その効果は絶大なものと変化するのです。

仏教に、「南無阿弥陀仏」という御題目がありますが、これは『阿弥陀仏の教えに帰依します』と云う誓いの言葉、心掛けの言葉であります。

何事も根本があります。根本、本意をよく捉えてから実行する事が大切です。くれぐれも、ただ単純に信ずる、実行すると云う事はしない様に心掛ける事です。

慈悲の光を縦となし、愛の光を横にして

自然に回るは、これ法輪の花

高松は、昭和34年（1959年）12月吉日、高松家秘宝家伝の「出雲秘抄伝（天津式神霊法）」、及び「高天原宗門秘傳（高天原真理教）」（神の存在と意識、詞韻波羅密大光明：五光の大光明、無痛靈感之法、般若心経不傳之法、神秘術不傳之法等々）を上野貴に伝授した。ちなみに、高松は、大正10年（1921年）1月5日付で、父義心から伝授されている。また、義心は、義心教会の会長でもあり、真言宗の大阿闍梨でもあった。

上野貴は昭和40年（1965年）5月吉日で小林正雄峰捷に伝授し、小林峰捷は、平成2年（1990年）4月26日、種村匠刀に継承させた。

この中で重要なのは、「詞韻波羅密大光明」という八文字である。これは真言であり八字の妙言であると、その秘密を解き明かし、意義・祈願法等を詳述している。高松門下で「詞韻波羅密大光明」を唱える者多しといえども、正式の伝承者の系流でなければ、この真言の威厳も威力も何もないことに留意すべきである。